

第1学年 学級活動(2)

題材「みんな なかよし」

令和元年10月1日
授業者：黒羽 淳平



<自発的・自治的な活動を充実させる工夫>

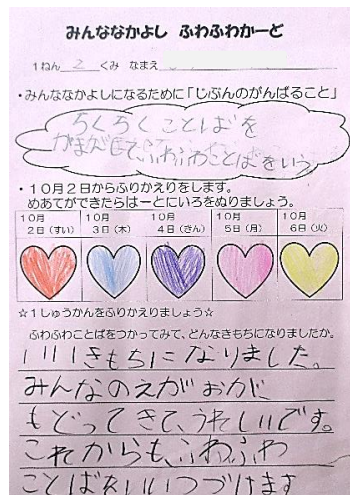
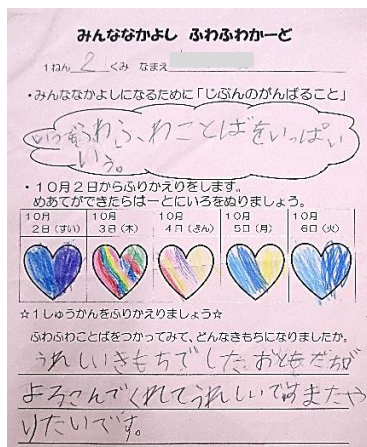
事前調査の提示

1年生は、相手に言われたことは覚えているが自分の言ったことを忘れてしまう傾向があります。そこで、事前に「ことばのアンケート」を取り、ふわふわ言葉とチクチク言葉について調査をしました。ふわふわ言葉を使っている反面、チクチク言葉も使っていることに気付かせ、自分たちの課題として捉え、主体的に活動させることができます。

<自己肯定感・自己有用感を高める工夫>

互いのよさの可視化

本時の活動を通して、児童が言われてうれしかった「ふわふわ言葉」をはっぱ(カード)に記入させ、「言ってよかった」というやりがいや有用感が高められるようにします。はっぱは、友達が自分についてふわふわ言葉を掛けてくれた時に、「だれに、どんなことば」を言われたのかを記入し「ふわふわの木」に貼っていきます。児童同士が認め合い、互いにふわふわ言葉を使いたくなるようにすることで、自己有用感に繋げることができます。



<自己肯定感・自己有用感を高める工夫>

評価の工夫

1週間という期間を設定し、本時で学習した「ふわふわ言葉」を意識して使うことができるように、めあてを決め、取り組めるようにします。取り組む中で、めあてが達成できた子を帰りの会において発表させ、称賛します。

また、ふわふわカードの最後に教師のコメント欄を設けます。児童の取り組みを励ましたり、価値付けたりできるようにします。

